

岩国基地と沖縄基地問題 沖縄の生の声を聴く

沖縄県民の本当の声はどこにあるのか

「沖縄は喜んでいいる？」



▲稲嶺名護市長との会談

「ふるさと基地懇」ニユース

(ふるさと)から基地問題を考える懇話会

発行
「ふるさと基地懇」
編集部
〒740-0023
岩国市川下町1-14-11
平岡秀夫事務所内
TEL (0827) 21-4567
FAX (0827) 21-4570

「ふるさと」から基地問題を考える懇話会(本年2月1日発足)は、平岡秀夫(前衆議・元法相)を団長に、山口県議と岩国市議(合計6名)で調査団を組織。本年2月11日、13日にかけて、沖縄県名護市並びに宜野湾市に訪問調査に行ってきました。

「世界一危険な基地」と言われている沖縄県普天間飛行場(宜野湾市)。政府は、これと同じ県内の名護市辺野古地区に移設(海岸を埋め立てて新設)しようとしています。昨年12月、沖縄県知事は、移設予定地の埋立て承認を行い、辺野古移設に前向きな姿勢を示しましたが、その翌月(本年1月)には、移設予定地である名護市の市長選挙で、今度は「移設反対派」の候補(現職の稲嶺進市長)が勝利。地元住民の強い反対の意思が示されました。

そのような中で、岩

国市は、知事の埋立て承認に先立ち、普天間基地にいる空中空輸機(KC130)15機の岩国基地への先行移駐受け入れを表明しました。岩国市は、これを「沖縄県の基地負担軽減への協力である」と強調しましたが、沖縄県住民の中には、「実質的には、移設についての「追い風」を送っているのではないか」あるいは「結果的には、沖縄県の負担増につながっているのではないか」という声があります。一体、沖縄県の本当の声はどこにあるのでしょうか。

辺野古移設反対の現職が当選した名護市長選

移設反対の現職が当選した名護市長選では、自民党石破幹事長が、「移設推進派の市長が誕生すれば『名護振興基金』(500億円)を立ち上げる」と、何と投開票日の3日前にそれを発表。「アメとムチ」の政策をふりかざしました。お力ネをちらつかせて、その引き換えに基地を押し付

けるやり方に、「沖縄県民の誇り」を傷つけられた県民は強く反発。また、このような基地交付金等の在り方こそが、実は「地域の自立の発展を阻害してきた」という自覚にも目覚めてきています。



▲稲嶺名護市長、名護市議の皆さんと

ほとんどの岩国市民が知らされていない意外な実態や様々な生の声を、この調査から岩国市の皆さんにお伝えします。

沖縄調査団

団長・平岡秀夫(前衆議院議員)
副団長・重岡邦昭(岩国市議)
事務局長・渡辺靖志(岩国市議)

団員・戸倉多香子(山口県議)・田村順玄(岩国市議)・姫野敦子(岩国市議)

沖縄県民の生の声

辺野古への移設は根拠を失つて、何の負担も減らさない

①森本防相(当時)は、「抑止力という点では沖縄でなくても良い」と発言している。(稲嶺・名護市長)

②国内面積0.6%の沖縄県に74%の米軍基地があるという負担感・差別感がある。(名護市長)



▲普天間基地のオスプレイ (嘉数高台から)

③沖縄の負担軽減と、県内での場所の移動ではない。閉鎖的、県外への移設。これしか「負担軽減」

とは言えない。(宜野湾市議)

基地の見返り地力では進まない

①国からの緊要性のない支援策が自治体の自主性を損ね、自治体に赤字をもたらしている。(伊波・元宜野湾市長)

②名護市の稲嶺市長は、再編交付金に頼らない街づくりを証明した。(名護市議、元宜野湾市長)

③沖縄県の有力な経済人である「かりゆしグループ」代表者は、沖縄の北部観光



▲伊波・元宜野湾市長との会談



▲埋立予定の辺野古を臨む

促進の観点から移設反対の稲嶺氏を支援。基地跡地利用(那覇市の新都心等)で高い経済効果を出した実績等を市民にもっと知らせ、全国に発信していく必要性がある。(照屋沖縄県議、宜野湾市議)

空中給油機が、いなくなる、騒音も激し、オーストラリアの訓練機が、そこで訓練を始めるだけ

①岩国への空中給油機移駐は、裏から見ると「辺野古移設」

を推進しようとして、私の目には映っていない

②結局、空中給油機の岩国移駐は、普天間基地の空域や利用時間に余裕をつくり、オスプレイの訓練強化や外来機(沖縄県の外から来る米軍機)の訓練の増加など、セト民にとってはいずれも不利な影響を受け加える。(元宜野湾市長)

③沖縄県の基地負担を全国分散させるための議員協議会の設置が提案されていると聞くが、辺野古移設推進派だけで設置されるのは問題。(宜野湾市議)



▲辺野古の座り込みテント村



「沖縄県民は、もう「ゆすり」でも「たたき」でも「たたき」の戦いだ」

①米国のメイヤー国務省日本部長(当時)が「沖縄人はゆすりの達人」と発言したのが、今回の名護市長選挙で、それは違うことを証明した。(名護市民)

②「私を推す市議は保守も革新も半々」



▲沖縄防衛局訪問

「辺野古に基地を作らせない」との一点、そして、イデオロギーではなく、生活、人権という問題でまともな議論を。」(名護市長)

編集後記

「閣僚が沖縄に来て名護市長の生の声を聞くことはなかった。」と稲嶺市長は嘆いていた。ふるさと基地懇話会基地周辺住民の皆さんの声をこれからも聴いていきたいと思っています。(ふんふん基地懇話会メンバー)

実績が証明 名護市は自立する地域へと生まれ変わったのです!
この道を **市長は進みます。**

1 雇用と経済 実績が証明1

- 中核 分業型で大企業300社を誘致
- 産学連携 産学連携推進協議会を11設立
- 中小企業の成長化 内販 外販 外販 外販 産学連携 産学連携の産学連携を100%達成
- 企業成長 産学連携推進協議会を100%達成
- 企業成長 産学連携推進協議会を100%達成

2 子育て支援 実績が証明2

- 55の産学連携でサービス実装中
- 0歳から子育て支援センターに駆けつけ 産学連携推進協議会を100%達成
- 産学連携推進協議会を100%達成

3 子育て支援 実績が証明3

- 入居も滞りなく進捗が確認
- 産学連携推進協議会を100%達成
- 産学連携推進協議会を100%達成

2期目で必ずやります

- 中小企業、小規模企業を支援
- 産学連携推進協議会を700人の産学連携推進協議会を100%達成
- 産学連携推進協議会を100%達成

2期目で必ずやります

- 産学連携推進協議会を100%達成
- 産学連携推進協議会を100%達成

2期目で必ずやります

- 産学連携推進協議会を100%達成
- 産学連携推進協議会を100%達成

基地おしつけの再編交付金がなくても財政を健全化できました。

市の予算(一般会計) **287億から 358億へ!**

建設事業費 **69億から 84億へ!**

基金積立費 **38億から 70億へ!**

市議会議員 **UP!**

市長 **UP!**

市民 **UP!**



▲沖縄防衛局からの説明聴取